

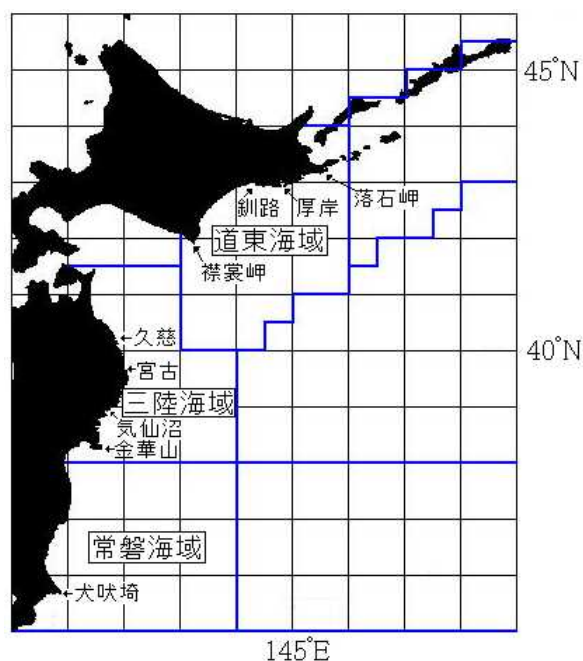
2019年度 第3回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2019年10月上旬～11月中旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、10月中旬になると来遊する可能性があるが、来遊量は極めて少ない。
- ・三陸海域では、10月下旬になると、来遊があるが、来遊量は極めて少ない。
- ・常磐海域では、来遊量が少なく漁場は形成されない。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部
担当：渡邊、藤井
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

2019年度 第3回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2019年10月上旬から11月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

8月下旬～9月中旬は、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか魚群が分布していなかったことから、10月上旬は、道東海域への魚群の来遊は無い。道東海域よりも東沖の公海では、10月上旬は低水準ではあるが来遊量は増加する。10月中旬～10月下旬に、沖合から道東海域に魚群が来遊する可能性もあるが、来遊量は極めて少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下する。11月上旬以降は、魚群の来遊が少なく、終漁となる。

(2) 漁場

10月上旬の主漁場は道東海域より東側の公海となる。道東海域では、10月中旬～10月下旬に、襟裳岬東～南東沖の、沿岸から離れた沖合に散発的に漁場が形成される。11月上旬は、漁場は形成されない。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月上旬～10月中旬は、来遊は無い。10月下旬～11月中旬も来遊量は極めて少なく、来遊は断続的である。多くの魚群は、三陸海域よりも東側を南下する。

(2) 漁場

10月下旬～11月中旬に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合である。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

10月上旬～11月上旬は、来遊は無い。11月中旬は、来遊があっても少なく、断続的である。

(2) 漁場

10月上旬～11月上旬は、漁場は形成されない。11月中旬は、来遊量が少なく、漁場は形成されない。

2. 予測の概要

海 域		10月上旬	10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬
道東海域	来遊量		— →	— →		
	動向		断続的	断続的		
	漁 場		襟裳岬東～ 南東沖	襟裳岬東～ 南東沖		
三陸海域	来遊量			— →	— →	— →
	動向			断続的	断続的	断続的
	漁 場			三陸沖合	三陸沖合	三陸沖合
常磐海域	来遊量					— →
	動向					断続的
	漁 場					

3. 漁況の経過概要（9月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域～花咲港東北東沖では、操業できるような魚群を発見できなかった。これらのことから道東海域～花咲港東北東沖における来遊量は前旬に引き続き極めて少ない。主漁場は、落石東300海里、落石東南東440～460海里および落石東670～700海里であったことから、道東海域よりもかなり沖合の公海にしか魚群が分布しておらず、その海域においても来遊量は極めて少なかった。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は、道東海域より東側の、落石東300海里、落石東南東440～460海里および落石東670～700海里であった。漁場水温は、13～17℃であった。

落石東300海里では、18日夜～19日夜に大型船が10～25隻操業し、最高9トン、平均3トン漁獲した。

落石東南東440～460海里では、大型船が多数操業し、最高15トン、平均5トン漁獲した。

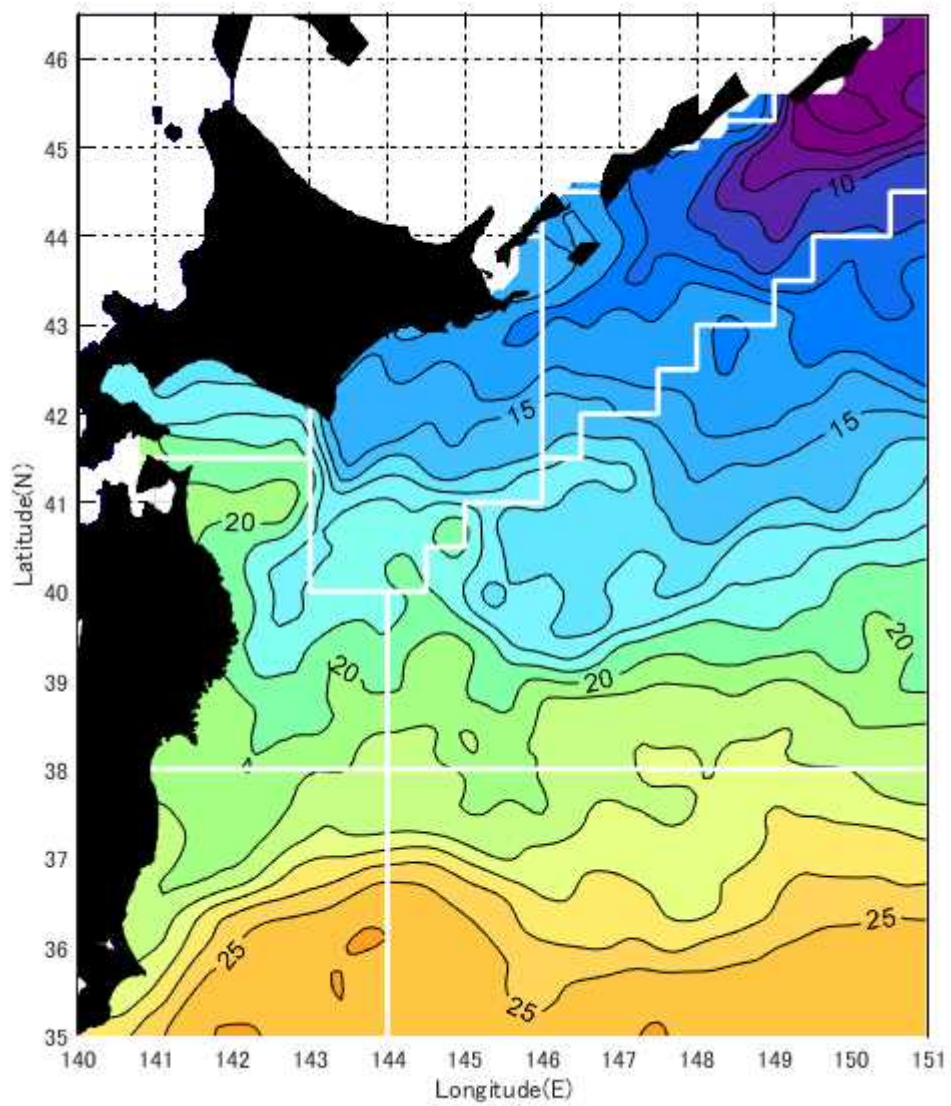
落石東670～700海里では、20日夜に大型船が15隻程度操業し、最高35トン、平均16トン漁獲した。

(3) 魚体

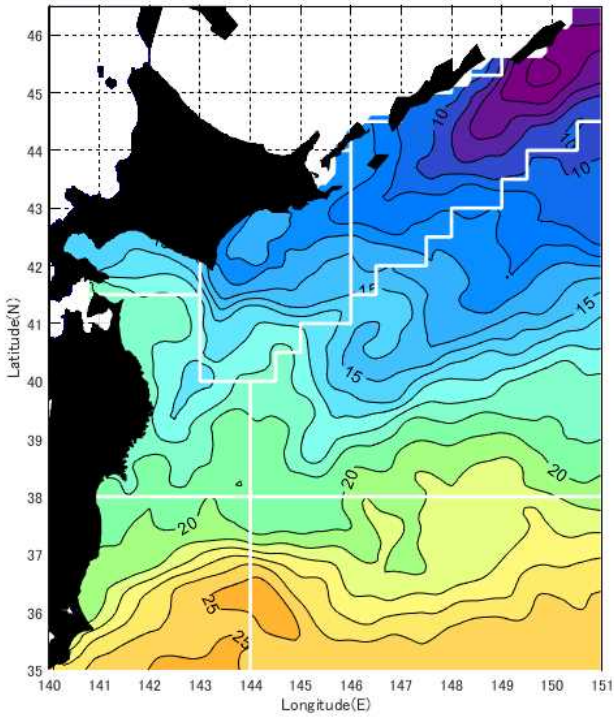
道東海域よりも東側の、落石東沖では、体長29～30cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は100～130g台が主体で、前年よりも痩せていた。

4. 予測水温分布図

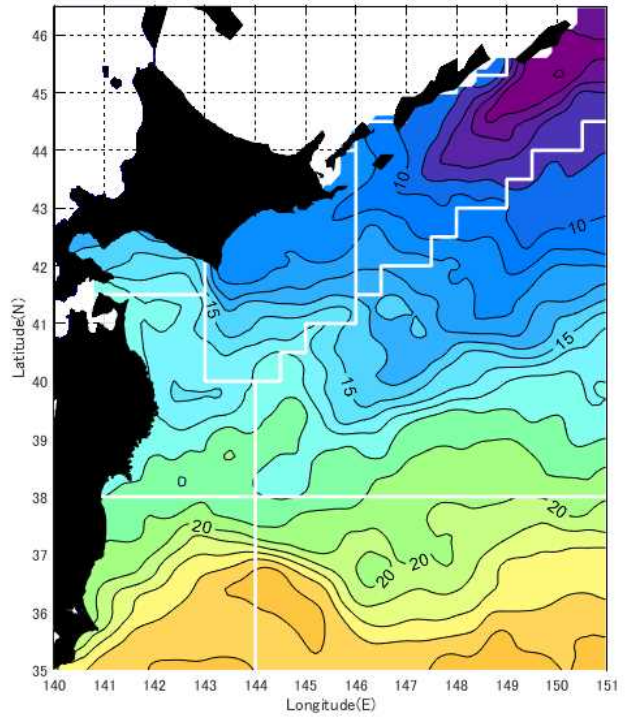
10月上旬予測表面水温分布図



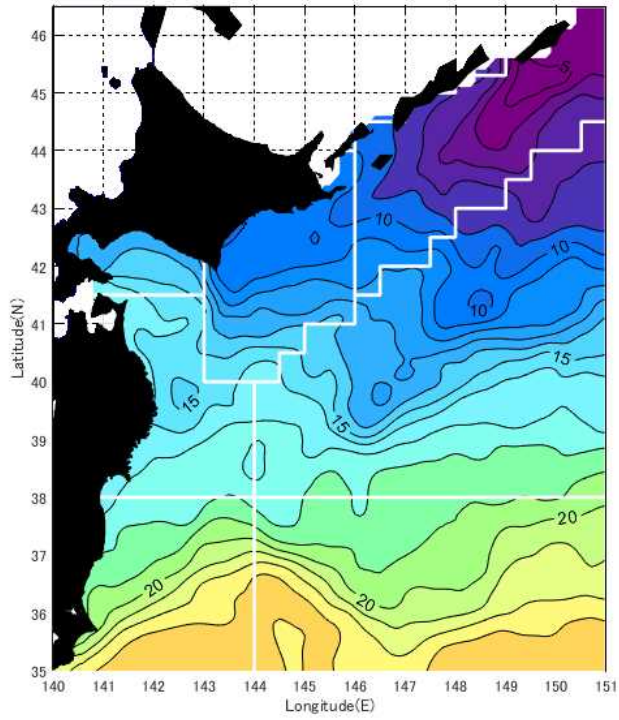
10月中旬予測表面水温分布図



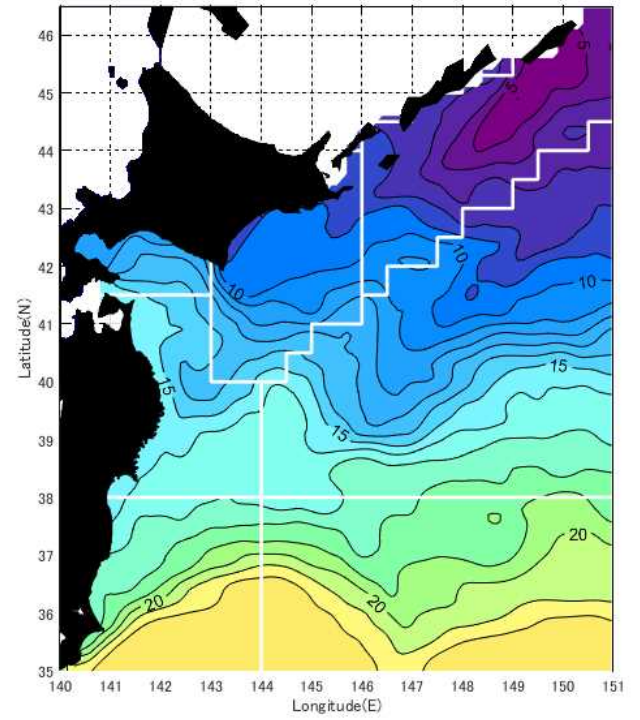
10月下旬予測表面水温分布図



11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--